

地産地消型e-Fuel研究ユニット

Research Unit of Regional e-Fuel (ReFuel)

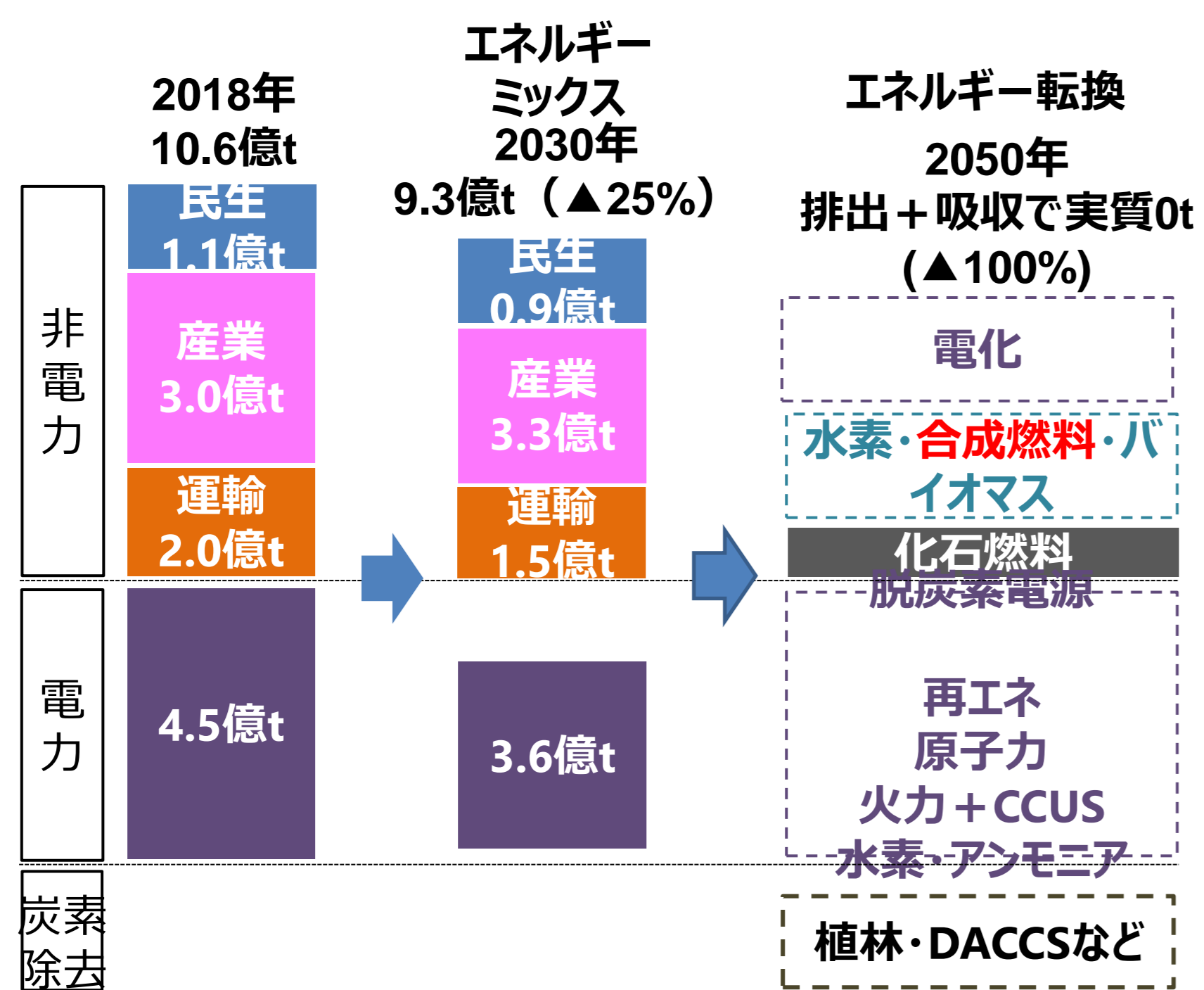
連絡先(板垣) : e-mail: itagaki.yshiteru.mj@ehime-u.ac.jp

「地産地消型e-Fuel研究ユニット」は、2050年のCO₂実質排出量ゼロ(カーボンニュートラル)を見据え、地域の再生可能エネルギーを活用して、地域で排出したCO₂を燃料化して再利用することで、CO₂が地域で循環する社会を目指します。そのために、愛媛県地域におけるe-Fuelの製造ポテンシャルとカーボンニュートラルの効果及び地域経済への影響について研究しています。

構成メンバー

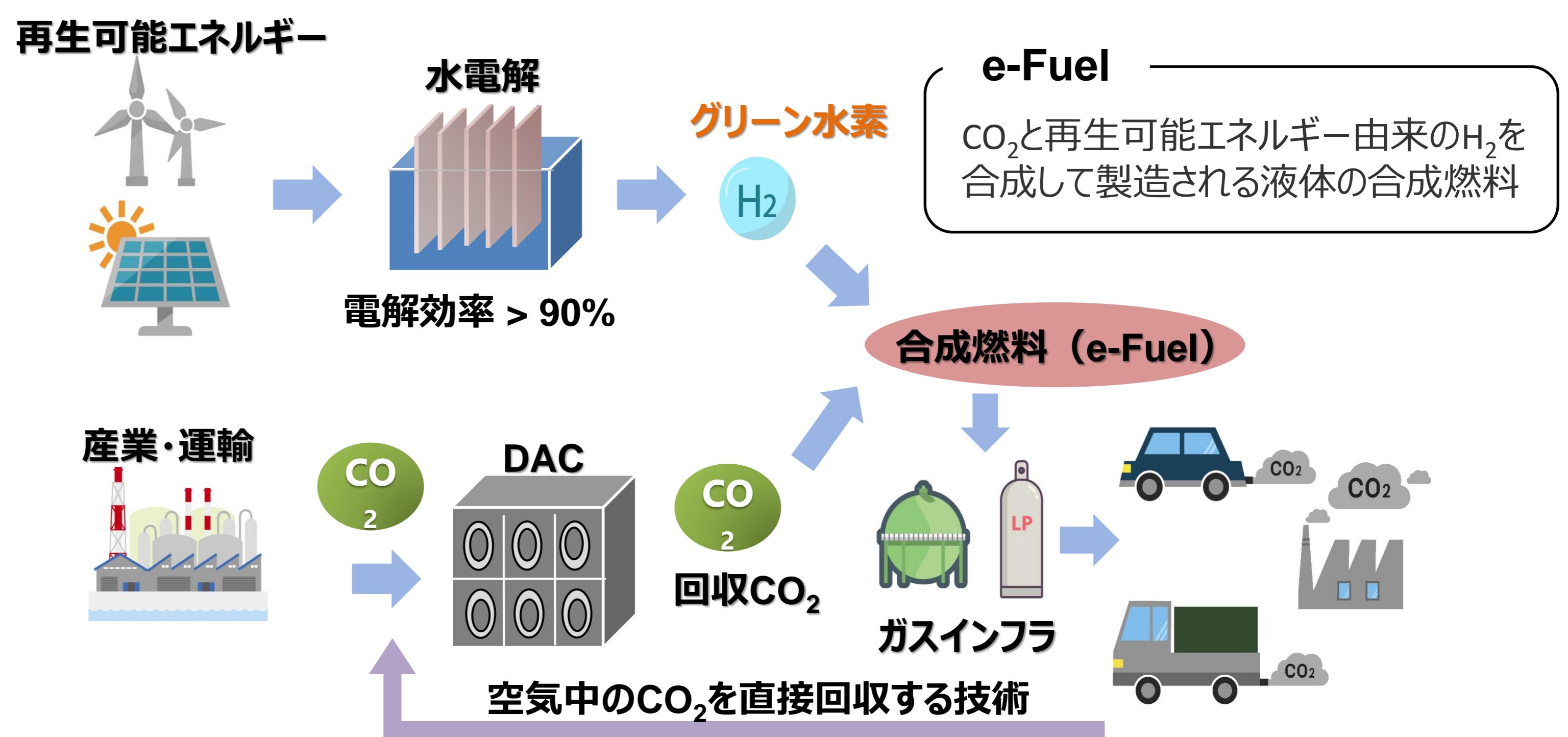
板垣吉晃(固体化学)	PVを利用した水素製造効率	入江賀子(環境経済学)	e-Fuelの経済社会性の評価
森脇亮(水文気象学)	気象学からのPVによる発電量予測	青野宏通(無機材料化学)	e-Fuel製造におけるリサイクル
中原真也(燃焼工学)	e-Fuelの地域利活用法	佐々木秀顕(生産加工学)	CO ₂ の回収と貯蔵法
向笠 忍(熱工学)	e-Fuelのエネルギーバランス評価	松本圭介(磁性材料学)	水素の貯蔵とエネルギーコスト
八尋秀典(触媒化学)	触媒による合成燃料製造効率		

2050年のエネルギー構成像

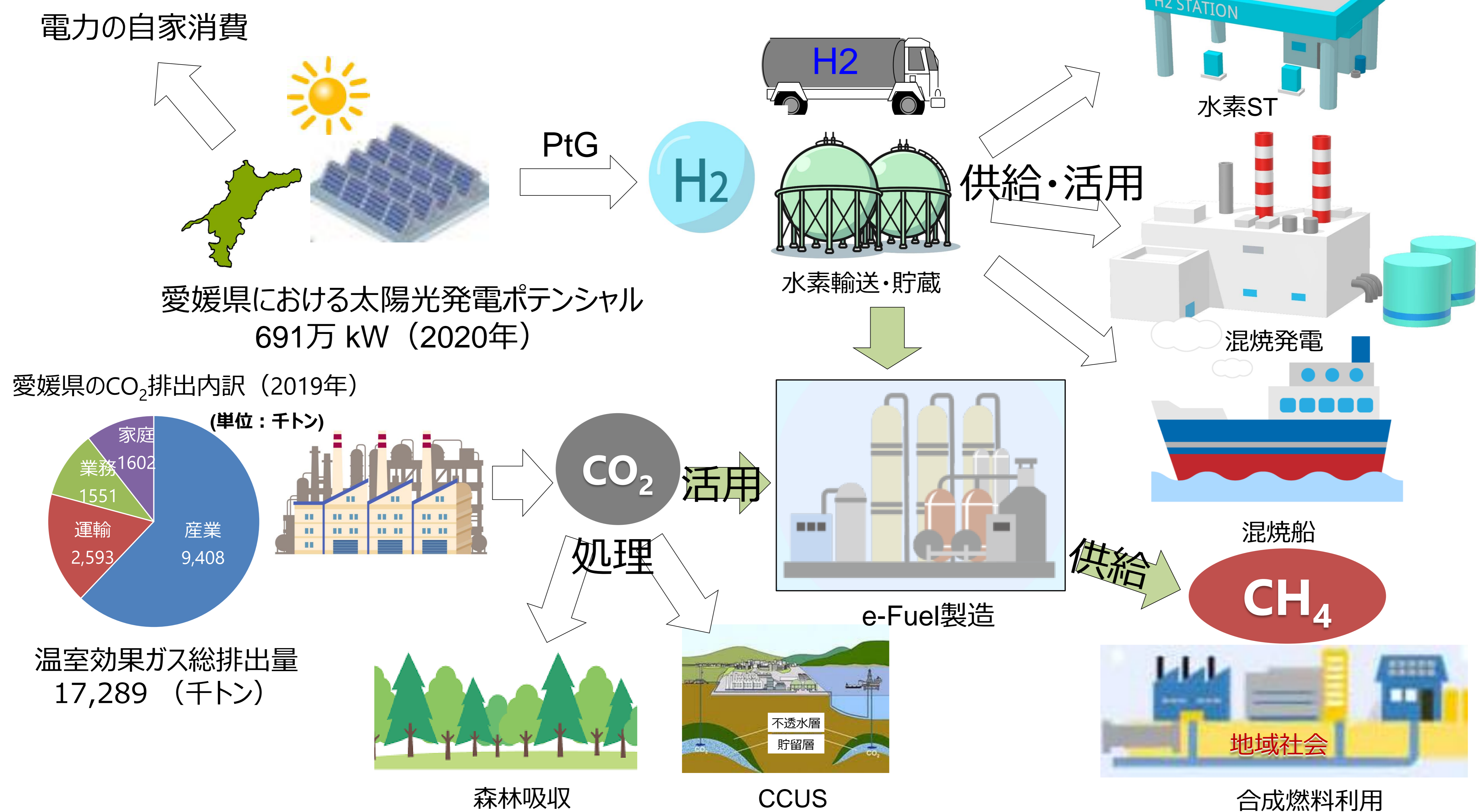


出典：令和2年11月7日総合資源エネルギー調査会基本政策分科会資料をもとに作成

“e-Fuel (イーフェューエル)”とは



エネルギーの地産地消による炭素循環



「地産地消型e-Fuel研究ユニット」では以下について調査・研究していきます。

1. 愛媛県地域におけるe-Fuelの製造ポテンシャルの評価
2. e-Fuel普及による愛媛県内のCO₂削減効果の評価
3. e-Fuel普及によるサプライチェーンの構築と経済波及効果の評価

➡ e-fuel導入の地域モデルを確立する。